

News Release

令和7年12月26日
経済産業省 電力・ガス取引監視等委員会

電力スポット市場における誤入札発生について(注意喚起)

令和7年中、電力スポット市場において、複数件の誤入札があったことを確認しています。誤入札の発生は、卸電力市場に対する信頼を損ねかねないため、報告を受けた事案のうち、他の事業者でも同様に発生し得る事案について情報提供することで、各入札参加者における入札行動について一層の注意を求める。

1. 概要

一般社団法人日本卸電力取引所(以下「JEPX」という。)電力スポット市場において、以下のとおり、取引参加者により、本来意図していた入札量・価格とは異なる内容で入札(誤入札)されたことを確認していますので、お知らせします。

- 入札案作成ツールに取り込むデータの日付選択を誤ったため、複数エリアにおいて誤った入札量で入札した事案
- 出力低下量設定時に参照した自社作成マニュアルに誤記があったため、未供出を発生させた事案
- 入札システムに担当外の者がアクセスし、誤って入札データを削除したため、未供出を発生させた事案
- 入札案作成ツールに値を入力する際の転記誤りにより、売り札を買い札として入札案を作成し、その後の上長等による複数回の確認においても当該誤りを認識できなかっただけで、未供出を発生させた事案

2. 電力・ガス取引監視等委員会の対応

当委員会は、上記事案に至った各事業者に対し、事実関係の調査を実施しました。現時点での事実関係の調査が完了している事業者においては、いずれも市場相場を変動させる意図は確認されませんでしたが、今後同様の入札行動が繰り返される場合には厳重な措置があり得る旨を指摘し、再発防止の徹底を求めました。

3. JEPX 入札参加事業者各位

本来意図していた入札量・価格とは異なる内容で入札することは、他の入札参加者の約定機会を奪う可能性を生じさせるのみならず、卸電力市場全体の信頼を損ねかねないものです。

誤入札を行った事業者においても、余剰電力の処分や追加供給力の調達の必要が生じる可能性がある点で、多大な損失が生じ得ます。

卸電力市場における適正な取引確保の観点から、取引参加者におかれでは、

適切な管理体制の構築や、担当者への研修の実施等を通して、誤入札を生じさせることのないようにより一層の注意を尽くしていただくよう喚起します。

4. 添付資料

2025年不適切入札事案の概要

(本発表資料のお問い合わせ先)

電力・ガス取引監視等委員会事務局
取引制度企画室長 石井
担当者 杉山、羽田、渡邊、牧
電話：03-3501-1558(直通)